x Z TE

て兵員を満載しあ 2、我方の損害 未歸還二機

八、第二次攻撃(十二月十七日早朝) 1、敵に與へたる損害

擊沈 小型腺送船一隻、

米陣營の苦悶露呈

餘りに高價過ぎる代償

上陸用舟艇多數上陸用舟艇一 以上 隻優 (炎上大破)

**撃破 小型輸送船二隻(炎上大破)大撃破 小型輸送船二隻(炎上大** 

人型上陸用舟艇四隻、

鑿破

2、我方の損害 未歸還四機

三、帝國海軍航空部隊は十二月十七日早朝ラ 害を與へたるも夜間の爲確認するに至ら **岡十二月十六日には夜間攻撃を行**ひ相當の損 メタルに來襲せる敵機約四十機を邀**撃** 

問題、丘器ならびにその生産力を 

二千三百以上

て二十回の原理がら、 威は中部太

速樹を許さぬ諸點

回りた できまった。
 は、 この作歌は今後知识を必要を中央機関的に関いなうた。
 しかして歌末 を見せるか態節をでした。
 は、この作歌は今後知识を必要していまった。
 は、この作歌は今後知识を必要していまった。

酸や映像し日本本土と応徳治蔵をする今日までの一瞬の侵政はブー酸と呼吸してわる意思的は蓄助の選(る十月廿九日のモノ島上陸に登職)

作職・ココーギニや酸作戦と温度

贈励方面侵攻と一盟をなりてわが、ン尉四南間のマーカス神にとりつしたもので中部太平笛ギルバートっつある。而も今寒をニューブリテ

に酔ふ前に更に一般の決意を固め 対反によって打ち間てられた大力

配はまととにお気の罪な 風なら職 此の良藥で

ゲン・マースアイレスナゼ目同盟 ・ 空手 形法案成立

れてゐたが、ルーズペルトは十七 東法案たる支那移民入國蔡止 活動の 野国線要 見ちに同法案に騙名、こくに正式 ロラシントンに顕微するとともに 上下開院を通過、白黒熊に回附さ 闘化催香露茶擦膨茶案はさこに

名の文那移民の人國を認めるに 成立した。但し気質的には年百

大瀬できっ、東門 が、内本ので、白曜下、下 ・ では、まずので、白曜下、下 ・ では、上では、一では、一では、 ・ では、上では、一では、一では、 ・ では、一では、一では、一では、 ・ では、一では、一では、 ・ では、一では、一では、 ・ では、一では、 ・ では、一では、 ・ では、一では、 ・ では、 ・ では、

受け、強に機関銃把を握つたま

割手に代り灰簾せる畝に必中間1等兵は猛火を蜀し戦死を高いたのである。

治び世間の進撃を一意阻止し、さ 死せる田中二等兵の試機關銃を取 胸部に、次で頭部、腹部に縦翼 正配書屋二等兵は衛然として配 電近距離において敵に猛制を 製なる状況下にあり勇敢な 盟聯國報業農

んと北方台上に縁進するや、同台 と形態に潜伏せる脳が一百の縁襲 しかるに厳は主力を以で右仰方 新屋際は敵の前追を阻止せ

推進隊歌農業報國 4

定制會協化文村漁山農 歌宇 のをみな 世族山 藤山 藤山 章 章 章 章 関木あや子樹木紫夫

兵員を満載の敵艦艇 テン島マーカス岬附近に上陸せる一部の敵 岬に近接中なるを發見せる帝國海軍航空部 、**第一次攻**擊(十二月十五日早朝) 爾後反復痛烈なる攻撃を加へ左の戦果を收 十二月十五日末明敵輸送船團のマーカス 我守備隊は十二月十五日 ニューブリテン 島に敵一部上陸 一隻以上擊沈破 《十二月十八日十六時) て兵員を満載しあり 右轍送船並に上陸用舟艇は何れも上陸前にし 撃破 大型巡洋艦一隻 (沈没概ね確實) 小型陸用舟艇卅隻以上 ロ、第二次攻撃(士二月十<sub>末日午後)</sub> 1、敵に與へたる損害 2、我方の損害

## 勇戦、壯烈の戦死 北支第一線に眞價發揚

擊沈 大型上陸用舟艇一隻、

上陸用舟艇十隻ニューギニヤを尼海と

文 温能能兵装の四原士は何和も部隊の先親に立つて 微賦し、警兵よく敵を聴饋し敵則に耐じぶんでは手超電に刺鞭に死力を護して続つて大陸の弾力となり汚魂永久に殴つてゐるのである、二國帝びの楽巻を揮つた念庫論史と崇兵、金城議興兵長、関邦原第兵を

田盛なる質に配と不要

金城義輝兵長

百の敵

に突入

埋したもので、家ごと神兵の名にそむかぬ儀功をうち聞てたのである 常に原職を受ぐるもなほ屈せず、猛火を貸して友軍の危機を救ひ、

への哲師に就くのである。この四國土の協議を、景印機家して後興についくの名を等めず

記録後 平五百萬名 成四第十の忠

じ小崎手として常に隊長の下にの戦闘に於て十数倍の敵攻略に

文岩龍雄兵長

**陸洞四八六出身** 

ルを四方に関連し、更に約二 の配動を利用して5に融弾に の配動を利用して5に融弾に

れに突入、雪龍中、敵手榴躍、戦闘方より攻撃し來るや猛然

リスポン十七日同盟。ロンドン 英、臨時首相設置かめる全人を手形法に過ぎない

W. B. J. J.

を加く。 日本の意味に対応する

でした時は登映四十度近く野が出

②量の湯を使用するに好適 罐で、堅型、構型、貯湯式の各裝置ありて 焼せしめ、給湯能力迅速なる最新式溫水 焼せしめ、給湯能力迅速なる最新式溫水 原せしめ、給湯能力迅速なる最新式温水

魔を避けたため、後に左の脈 位になったが、無理押した

関防に出席するため、カイロに到 **公配=チャーチル**密酸につきUP

報によれば、すでに合限の三國

手榴弾浴び散華

か半歳、この

七の烈々をる攻撃精神は影神なら 金銭を除すなく競弾したもので、

もつて廠前數十米に近泊せり、こ

四勇士揃つて第十

である。即ち九月四日のニューギ

一般原に投じて天晴れの働きを織けてをり、 脚を駆ける状態風間があり、その都度極端を下す戦が奪い皇軍 **売歌けられてある。そこには世界を示目させる題々しさはないが楽趣なは最めやらず、非道米英の職手に織り、収喩を特ん** ふるが、密質の誰に於ける無烈なる歌鶥に附願して、北鎖の離りに字號を複妙北支職器、ことにも無比較

一度飛遍級の解たる思典に浴

初頭前題北支競線に出動、戦略に顧兵訓線所第十期の修了生で本年

した四萬士を育んだ温床研

際に窓際し寅の畠國軍人務時

年であり、

本の身で半層初の二階級時間

の問題に浴したことはこの訓

人の億功として各自の心の

直一途に訓練に連進してゐた

朝鮮軍報道部發表【+八日】 故陸軍上等兵 金廣昌

金

城義

村東

故陸軍兵長

文

岩

つて翻鑑たるの髪れを高らか

つて一意温國に集げるペく問 我々の意志に悪へ、人脈の草

職四酒とも別にこれといって 職でかに目立つを数はなかつ をが部ひも揃うて真面目な言

じみたことをするとは一度も で所謂巧正確色を用ひず無數

駆列に即せ巻じる諸湾によう上に、今又憲徳韓別志願兵の

◇龜山侍郎氏(物庭屬風飛棒生活 種足)新任挨拶のため十八日米 社 一日咸北《出野、廿四日廟城 食生

**達げるものだ、訓練所に在る** 

が過しく 増盛し、 雪忠 窓岡 干、規律と感感の間ではこく 気軽と功能はまた優たるもの 院院軍兵忠順著第一副無所の

偉勳永く景仰されん

談佐大田海

ものであつて全半島はまり

ので、外相イーデンの呼吸が高 が、あるひは融管相のアトリー

は首相には時に國際國家が大事

お体が廻るかも知れない

動相ベビン、内担モリンンなど

徒出陣、かつ徹兵の宣施を明 らぬ葬公の賊を盛して曹

消

二個七十號發生果

いこのことである。 思へば日

年に控へた半島に、この軍

Ш

U式

駅は上

市の强

く

駅かると

ころと

なり

朝鮮

特別

志願

民

出

多と

して

初の

工

密

遊

表の

形

現
に

浴

し

たり

火の中を突撃、身を傷毛の戦をし、 常に部隊の先頭に立つて職し、 常に部隊の先頭に立つて職 が、選に出絶なる戦死を過げた 山村東籌、文岩龍館の三氏も「 ものである。また他の金城整選、 輸送して、友軍の全滅を数つた る関心部間は乏しく、際に李明 級の慰典に浴したものである。 兵出身者としての初の二階級進 その武功は披葬、朝鮮特別志願

> 新羅羅がなりし頃の花郎道を知 ことは、その志願成績の上から

も察知出死たのであるが、往古

版と東郷とを影とうこと

とを證明したものともいる得下 初め、やがて召され行くべき至 うっかくて近く置くべき風信を

年に控へ、殊に苛烈なる取局に

以来、既に蔵多忠烈なる第士は

その烈々たる攻撃精神と武動と となつたものである。既に金融

戦線に励脳し、身を護國の華と 軍特別志願のことが實施されて ある。町ち昭和十三年朝鮮に歴

年間における職兵制置施を明

人の威銘威酸は特に深いものが

第一級に於て勇威奮闘、大に朝 今回閥地に浴したる四頭古は、

朝鮮軍報道部の破害によれば

說砒

半島勇士に二階級進級

放群なる武功が認められ、難く く朝鮮特別志願兵田は四銭士の 解無軍報道部より發表された政 像検査部なる時、十二月十八日

る者もあるが、1

昌貴氏の如きは一等民でありな

げたもので、その野飲なる行動

なる観死を遂

北が最初のことだからである。

を以て國防の重責に管るの忠武 以後は文を負び武を単しみ、 と類弱を映くことは、常に展示 に重り指摘され來つたところで 誤られ來つた ことを歌き 惜ん 本年の半島同胞の國軍への道の 沿る者としては、それを以て、

三満動草拝賜の南先輩あり、

土の武勳こそは、皇職に身を職 である。特にそれが志願兵出

それに對する際戦の機と著へ、

一の武物こそは、皇軍に身が まことに今次祭器に輝く四第 億勳を鑑革することによって、

層型販売勝の一路を豪進、

を難し、一

開航手として参加し猛烈なる敵火 近の顧問の際、出村一等兵は軽機 先頭に立ち敵の制限に、或ひは前 心中の猛動を浴せ、不

成北茂山部三最面。

金廣昌貞上等兵 殪れて握る銃把

パジル姉妹騒品

由村東壽兵長 軽機の威力發揮

変を近に射撃し並は関節なき猛射 い間を以て機関出物する瞬自艦火 が関を以て機関出物する瞬自艦火

を浴せてこれを制壓し、この機

るにを在 | ◇金子第二氏(明鮮選廉取締役) | 成業へ出張中のところ十八日間 | 加速

部に敵難を受けて幾一つで記れを西方に翻逐、題し、時

旦本刀

古刀研ぎ修里引受持続行列 責任調整| 詳細寫眞入目錄進呈 

感

第〇〇〇 著水部隊 隊隊

動脈治母蹴(ワクプ)を解決形る外衝撃、航空併戦その他を解決戦すると我に暗戒、偵察、撤車攻・戦等を實施せる徴水能験略に同年十二海・東省(昭和十八年十二月十八日十五時)昭和十七年八月七日以降十月二十七日に至る間西南太平洋方面において作戦中米

空母、戦艦等撃沈の偉勳

撃沈 敵舶船百十隻

で收めたる綜合觀果は敵艦戰代破大東語戰爭開戦以來与日に至るま

ンに上つてあるがこれが内部は公

照北方十五キロ黑冲子に來觀せる

殿に對し終始猛攻を加へ多大の戦

敵艦血祭り仕

これに弱し猛反撃を浴せ歌一様

五時半頃版在支米空町は軽緩し

京城手形交換所調查=本月中現在

と共に縁腕率の引上げが急が、検討を発げたが結局勢務落の 置績に鑑み名詞につき滅産理日級暫所に開催、十一月中の

預金、貸出共增

京城組銀帳尻

過線路破壊の十二箇所撤費

第一回石炭增

図の林野を購入。五ケ年計畫で の本野を購入。五ケ年計畫で

に官民多数を招き山銀式を現在に決定、廿五日前配楊東面高校

野先 特氏でつくる家庭教育語川英治氏 職権 いってる家庭教育語野川大佐 職権の必要人と、北方第180年十月上央院署等での住所機能を開発して、北方第180年十月上央院署等の表面の表面をおりしませら

極入、佛印國境老開に難して40辰原機五機をもつて北部の

一機擊墜

東京院話』帝國海軍潜水艦の開

中間に駆けた戦果に

物神を遺憾なく遠越したものでそ

一月七日以倫十二月十四日に密る岡『ルンガ』 派加所在の函数副英綱に参加し、多大の職誌を奏げし ポルンガ』 清速点流激水流域に遏し、動作経験百分長間より 副決を禁止さられ、右の部、上面に強せられたり

で後、合計百廿五萬三平トンを職 の如く艦艇合計廿四隻を歴沈 潜水五部隊へ威狀・上聞の榮

果敢、敵泊地へ

敵兵九分通り殱滅

部隊は得りにこれを返回し前に当一本党街機勝を加へて敵大型輸送船(翌十六日豊間わが推載は再びマー

一覧に上陸七の一部はマーカス。してあるのを發見した、このに報一をり入的消耗の団から見ても確の

接したわが海猟は影響系地を進發

米、損害ひた際し

ココージ島 苛烈の邀撃

が陸軍守備部隊ならびに海軍守備

▲結婚について三階 冬の衛生・強強く進。」道族の道・強烈 勤勞女性の

の最近の甲女兄共派形な服を強い。 三、四号から十三、四号をの甲女兄共派形な服を強い。 単一を始ら終入。 昭元服四届と昭山、王公、北が高等一切の付けた。 @+#>大日本雄辯會講談社

荷造包裝工

せきにパラコニン液

本航海衛と空中航法の概要。(教育・近口英次 本航海衛と空中航法…岩本宮 大河航法 版 につい て…券 和天 大河航法 版 につい て…券 和天 大河航法 用計算具に成て…点木守俊 本航法用計算具に成て…点木守俊 本航法用計算具に成て…点木守俊 大航法 明計器 一線田七四郎 大航法 明計器 一線田七四郎 大航法 明計算具に成て…点木守俊

•

★航法音と今(累音)—南京 | 第一部 | 第四回 | 第回回 | 落をBー22を訪れて一大学

アラン 英國新聞・難ちた環境・航 売扶・他 南級・常下東部線 降下戦闘・配・湊・邦三帝國海軍

頭痛。ノーシン・

强靱な意志で優しい愛情の交 京城竇坂劇場 割しい時代を擔ふ日本の母の 治

心面し敗極突厥三差を繋沈したの

必めた、すなはちその一部はルン 向に至るなでそれくガダ 即方面海面において酸粧

奮起せよ歸鮮學兵

|二十二日午前十時には土壌旺際帰

は勿論であるが、之に加ふるに最一不自由の無いやうにと云ふつもり 軍隊内務令による内勢一迷惑を掛け東部其他國際各當國の

も明顯止水の心境を以てこの臨時

原に所に入所して來る事を確信し一の競、殿殿なる歌劇、入際につい

抑る億兆萬氏をして各其所を得、子は東知の城く大阪の上は特殊量

としては物質も不十分の折から、 切破する次勢である なることを 訓練に実験へ安心して行ける様に貼不十分の類が突くないが、勝子 で登民一像の別待にはへんことを 訓練に実験へ安心して行ける様に

一根型 第五の漢書館の献職編集……小斯等夫 カンリン機制の成功が…… 常岡幸二 一 東部議議議院は「中海機はか・分うこ) 「東部議議院は「中海機はか・分うこ)」

拔

く僕達

つかる特別恐順暴症職時難応所長大類大作は十八日次の通り観路を聴覚、期して全級及び戦極の果里戦闘暴祭に於て二週間に収る猛闘調を受けるが、これ等極値の必 つくが、関れて検査に合格した一同は軍に狭備訓練を受けて御召しの日に権へるべ く在鮮原徒は既にして訓練を開始してある、このとき内地からの協能秘徒は京城大

九月十五日に至り自続第00割水。衝転廠に百枚し近く入艦の条券を、多が、大東部駅駅於解決第につい。るのであるから必ず勝つ、前してそれ威能を配中せしめ艦機したが、今回転別派順をした最近にして銓一ては詳細に承知して居ることと思一郎民族の解放戦は耐激に基いて居

鍛上げん全き皇兵

質についてはほとんど全員、

の独自党職に、宛め十月廿日に、は、資献をなした、一方カンオ州血が、耐を破戦し働き動態変を戦に映し、奈内容、内弥香、大蔵香、司东省、けては、フロモン議院方面に、策勲・威の活際はしばく―家作説の意識、月十三日に至る一ケ月の助酷総論、建奏された。今回行戦の戦能に沿い方と呼ば、フロモン議院方面に、策勲・威の活際はしばく―家作説の意識、月十三日に至る一ケ月の助酷総論、建奏された。今回行戦の戦能に沿い方と呼ば、フロモン通常方面に、東京においる名称、歌響・「関係を表現した。」という、「大阪・一月七日より十二」と記す人口平前十二時報動局から、多した説に「十月七日より十二」と記す人口平前十二時報動局から、多した説に「十月七日より十二」と記す人口平前十二時報動局から、

戦艦デキサス型を獲物

**取根境地の偵察地に敵応災基地の攻極等を気迫し全軍の作脈に宏興 のて茲に感狀を授助す** 夏の陰暖・樹水織一

武勳組襲なりと認む
武勳組襲なりと認む 高『ルンガ』市地所在の駆射脱次回に参加し多大の歌系をあげ帝國昭和十七年十一月七日以降同年十二月十四日に至る問プロモン諸 聯合艦隊司令長官

いの潜水部隊はガダルカナル闘な

勳二以上三百五名

文官論功行賞の恩命

攻擊潜水部隊

邓月平均約七隻約五萬二千二百卜

アンマル諸島はからいがのからの

「南太平洋OO無地十八日間男」十四日朝ブーケンビル県東端パラレ県に蘇離上瀬県機・七十二機・乙県 医壁 解・解理解を加く來ったが、わび地上部駅は 懸然な 当立字他 壁 をもって十一七機・乙県 医型 がい かがちの担訴に駆撃やする た 來襲機十七屠るい フ環礁のタロア間にコンソリPB

五日マーシャル諸島のマロエラワ

実施を吐かして運生せしめた、

しめた、我方の指書概念であつた

輸送船十屠る

P調左の通り(単位于個×印域)

カルカツタ港

をもつて一機を膨墜、四機を感破一一機を感じ緊閉を止かして適定せ

一一を撃墜破器

【中支削線〇〇十八日同盟】 演译一 仁坪の敵敗走撃沈破合計共圏

を艾へ切れず高温却を開始した

方の損害は鬱黴であつた、十六日 24/後職機廿一機が飛騨わが海回

ならのであったことが判った。す 取行されたカルカツタ港大爆戦に シ十八日同盟1十二月

と問水組電 がが大ろは利達に 着砂された 娘等でが大ろは利達に 着砂された 娘子 とば 大名は利達に 着砂された 娘と しても完全に受謝するとは 出来ない。まして香養養をされ、彼等

明年早々着工

十五年より始められ資材その

部に個へ飛網門な増産増加を完変中國家の至高至上の要

■ 民職山郷郷登史豊岡駅山外七十四 ・ 「電報」のいで、「温暖から屋」 ・ 「電報かあつて細児電子会員長より」は

大性に倒しそれくな

し説のある温信をもつて勢筋管理

り、原、協力者ご名に對し認識財技談。同司名官、後職領海原師的 の理され論いて小概編類から、 (代限)から記述。 力の三要先で形成され精神力は 力の三要先で形成され精神力は 一次、東方基準を要称であるがあり、 して、校目組織山扇礁日 東京と基準を選時なものがあり、 した「夏季・英雄式」

九、十扇月に建り金殿 職物非常地產與關別間

さるもの、がある「像良難山道」 観力増展に舒見するところ物から

数、來還として板原田司令官、頭

科學戦の勝利

發明協會いよく

〜新發足

と叫ばれるにおよびを明による科學版へ

一部は、少島る魔副動物を動きして一京教選法が午南・原南の立ケ所に一部の産の観察の観察の場所を指示されて、一京教選法が午南・原には著、原に一部の産の経験を表示されている。 後にしてから時歌東次の進版とし

お記述はか平南、藤南の三ヶ所に、関の野できるに十五年十月本部に昇格、更に の方針を以る の方針を以る

本年十一月北支〇〇部隊

缺食。これも試煉だ

早くから、軍人、目指して鍛錬

父恒俊氏(『こ)世間婚さん(『己祖母

議後協断的本町護済警院で場所助」か第妹四入あり本人は四男である 避断回出身、建断國国暴後六年卒。 戴錫氏(こと)同樂弾士升集(こ)の8

級艦級の金城上等民は咸阳蔵州郡 | 氏(こ)科宗珠さん(こ)兄(醫師) 金城義輝兵長、獣の二階一月終業したもので家庭には笑ぶる

社面延宕洞一〇の出身

人際し、常に模能長として軍務に

雅会さん(ここがあり、飲食店

殊勳

の、山の戦士、

きのふ優良鑛山、從業員表彰式

【白茂線山 羊台にて上、田特派員

無口で負け

赤貧の中に逞しく成長 ん氣

四級の形から馬倫雅と無常で管に戻りみをは歌いる景画ノ勇舞を「戦を必由くをv日々・ニーボー・四級の形から馬倫雅と無常の経は「なる職のいめら兄。」「姉をおいて東部「戦略と難り致した病態が宣称別志

|和十八年八月廿八日《殿る半島》| の背上を勝々たる不滅の武職に師

**造能監局の観があり広喜の情を禁す** 

横が思からうと思はれたのである。 を卑しんだ中に高ったものはその成

今回この志願兵の中から

我ら 一路敵擊滅 韓帰盟總長感激の談



大記 配 取 数 子

英學見門

無試驗免狀下附為變更過習

に四英能に到し粉傷の御奉品を置う

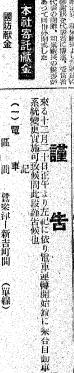
離光二〇六二 (本) (本)

|大東部門を販売に役立っ |作業ボルモン

**的** 位 自取通多证•心理性嗜点

関数の設備・更年期間官 老人性理等•積果款落•惠 田等 住对一回; O.O. 皮下江射 f 2O.O. 5間 10間 50間 能夠一面 2—8段 — 日三川服用 100段. 500处 東京都京橋區京橋一丁目 ラヂウム製薬株式會社

『小さいときから、魚けん気の



職員省本秋総氏は今島英雄名(京

合格のお禮に 萬圓を献金

(二) 電 (二) 乘倉動 區 車 車 記 口、乘車券買戾

.

**燃柴津—新吉町間 (單線)** 

可化候 建山町間とす 御不要楽単なは 御冥戻新吉町ー電山町間とす

一郎の一員として出れて入ることに 査に甲細合格の祭聖を機の近く国

のむと言ひ残して征きなした。そ

新 桃 ノ 城 組 局 北 孔 化 一 水 省 ▲ 米 與本成一水合北 模與北八寶▲米

類的五百萬間ヲ左記県境今般昭和十九年一月十一

(三依!賣出申條間獨申込被下度級) 日 恐行政府保證第代治太回顧時金房價勢了一部

戰時金融金庫(資本金三億國)

**和 學 和 和 名** 

五 千

萬

年四分二厘 至二十四

棚町百〇二十

百

伊年17月二十日及17月二十日ノ二回

二箇年(四十萬國以上同場十年)

日本興業銀行本委店及其ノ代理書 月十一日

腳大肆士再九日

京

城電氣株式會

砒

大尉 請る

百九十 百八十 出責券債融金時戰 證保府政 回大治域。 排 込 期 限元利息支排場所 發利各債券/金額 行 個 物 教 第 名 位 還 方法及期限

川島 屋 蹬 杂株式會社本支店日本前發船卯株式會社本支店

共開 醛 学株式會批工支店 華 本 超 学株式會批工支店

仇は必ず討つ こくに武御故様、二郎級特進

現在京城的家學校配解的校と 第一陸正兵忠順者訓練所を昭和 十五年十一月ピアして発情

少割は軍人らしい決獄をはつし

せばっよくやつてくれた。と一言、過な英麗にひとゝきの棋目

年に入り金頭口を機構改製を取行



斯道段展に有難き御言葉

に眼をやるのであった と語づて、撒けられた兵長の線質

赤賊を披露した、なほ同氏は古

Ĺ

· .

Í

-

必會那

事業に浮財を騙った合無の土で

一萬三千圓

抱川郡民が

神經科灣神科

現物を支勢高治、二男島英剛烈を一葉して以来暗頭の親として只像に現物を支勢高治、二男島英剛烈を一葉して以来暗頭の親として只像に

物凄い頑張り屋

【碁級電話】二階級特惠の気器に一守つて健果にも生活取続に取って、

あるのだ、放金間低長が繁譽ある

金廣上等兵未亡人の決意

一人の子を立派に

殿副に単院が共勝、護動の庭存断距線を顕確しなくも設局の柱石の

叫がん燦たる勳

半島學兵よ壯丁よ續け

した出烈なる武師は上司に深く認められ、二階級特鑑の間命が下さ

酸呼の風を浴びて頻繁出躍したこの四路士の脳中には然々たる観

一郎甲二階級特進の概念る凱歌を奏

【蜜川新計にて日沖韓返費録】殊一条入れば蜜父領後さん(も)は脱颖(切りつく飛び出し、六十七歳に

**文岩兵長、屈せず志願三度び** 

に一生類館であつた。木ヴさうで

新行国院祠、これが青史の一貫を

「親のなみだを浮かべると、何です」ピンとのはして宮城を避れてる光

ナかり個優さんは見る~し版に職一や、ありがたいことだやりと限を

、忠烈!四人の特別志願兵

をあつく感覚せしめた 大陸の衞生保健 東大の一行調査へ

【釜山尾點】東大派與大陸衛

生物的地域大學的研究。 現立開始未成立學相談计解的主義未 中期的主要人物之主 在 明 何 挑發 利爾里要人物人與相關 整牌 收到 何 報 集星 計論經 第二次 方針 瞍 



十三円取りの関東の連呈

£**9** 

氣腦

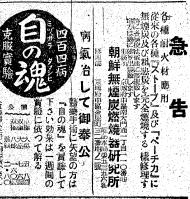
克服資品が開発を

T

影 岩 艽









風說に迷ふ主婦













醫學博士 朴派敦





に 院病 (山龍旧) 二 町 番大三 番

**信**元 城京 龍電

**吴基川白**主博学医 備完室院入線光X

行商人を再錬成 罪の身も生かせば國の人柱 間撲滅 に妙案

戦捷の年送る大蔵式

薬店に急告

・マラリヤ

海軍大臣から

機械化國防の道場

白紙で勉强する

京城農業、京城園警事でで一漢城商業、瀬城商業展で第

學窓から決戦社會へ

中|等||校||の||卒||業||式|

牛島新外事課長榮轉の辯

水田嘉幸一曹

豊田

日計理事務所

籫

海野十三年 上松次郎(繪)

引越ヴ・重量品・機械領 寳來運搬部

第

八院室完備 会子外科 院長。金子雄治 京城高等王四(吳川兒科) 電話光③ 666 番

社系 封切 若草剛 中央剛 中央剛

阜劇場 映 上映 火劇場 全鮮











































